

平成27事業年度

事業計画書

日本中央競馬会

日本中央競馬会平成27事業年度事業計画

I 事業運営の基本方針

1. 経営の基本方針について

JRAでは、事業運営を行っていく上で、具体的な施策の構築、事業執行などの指針とするために、「経営の基本方針」を定めています。「平成27事業年度事業計画」は、この「経営の基本方針」に基づき策定しています。

経営の基本方針

JRAは、毎週走り続けます。

○お客様とともに

私たちは、お客様を第一に、皆様にご満足いただけるよう取り組んでいきます。

○夢と感動とともに

私たちは、レースの迫力、馬の美しさ、推理の楽しみが一体となった競馬の魅力を高め、夢と感動を皆様にお届けします。

○信頼とともに

私たちは、快適で安全な環境のもと皆様から信頼される公正な競馬を着実に実施していきます。

○社会とともに

私たちは、皆様に親しまれる競馬の開催を通じて、社会への責任を果たしていきます。また、馬文化の発展や環境への取り組みなども行っていきます。

○そして未来へ

私たちは、歴史と伝統のある競馬の発展に努め、国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬を皆様とともに創造していきます。

2. 中央競馬を取り巻く環境について

平成26年10月内閣府発表の月例経済報告によると、「景気は、このところ弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」とされており、また先行きについても、「当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。」とされています。

しかし、駆け込み需要の反動からの持ち直しの動きにはこのところ足踏みがみられ、さらに、アメリカの金融緩和縮小による影響、中国やその他新興国の景気減退、地政学的リスク等も懸念されることから「駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。」とし、注意を促しています。

こうした中、特に2020年オリンピック・パラリンピックの東京での開催に向けて、持続的な経済活性化が期待されています。その一方で、平成26年4月の消費増税

の影響が残る中、さらなる消費税率の引き上げも検討されており、こうしたことをはじめとした今後の社会経済動向が平成27年度の中央競馬の事業運営にも様々な影響を及ぼすことが考えられます。

また、中央競馬を含むレジャー産業の動向をみると、国民総支出の増加も背景にして、余暇市場全体が11年ぶりに増加となりましたが、業種間にはバラツキがみられません。中央競馬も、平成24年から2年連続で発売金が前年を上回り、平成26年度についても比較的堅調に推移していますが、少子高齢化や多様化するレジャー産業間の競争激化も進んでおり、取り巻く環境は楽観視できない状況であると思われま

3. 平成27事業年度の取組み

JRAでは、経営の基本方針に則り、平成27事業年度経営目標については、「将来にわたる事業運営の安定化と経営基盤の強化」を図るとともに、「競馬の開催を通じた社会貢献を果たしていく」ことを目指し、「事業運営の根幹となる開催日数288日（36開催）の競馬の着実な施行」と「魅力ある競馬開催によるお客様総数の拡大 - 対前年比100%超 - 」を基本目標として掲げています。これらの目標を達成するため、事業運営にあたっては、将来にわたる安定的な事業運営基盤の構築を念頭におきつつ、既存のお客様の維持及び新規のお客様の獲得を図るため、あらゆる面から検討を行い、施策の効果検証等を踏まえながら、より効果的・効率的な施策を迅速かつ積極的に実施していくことが重要であると考えています。

その中でも、競馬の魅力さをさらに高めて提供するとともに、お客様の視点に立った施策の実現によりお客様の利便性及び満足度の向上を図り、一層の参加促進につなげることが重要であり、以下の4点を重点事項として取り組みます。

- ① 重賞競走の改善などによる競馬番組の充実
- ② 競馬場を中心とした現金発売施設の活性化
- ③ 集中的なプロモーションの実施とプロモーション効果の波及に関する取組み
- ④ 競馬の国際化に関する取組み

II 平成27年度の具体的計画

1. 競馬番組の充実

競馬番組は、お客様に長期にわたって中央競馬を楽しんでいただくための根幹となるものであり、常に魅力ある競走を提供していくことが必要です。一方で、競馬番組に基づき行われる競走は、競走馬のサイクル（生産⇒育成⇒調教⇒競走⇒生産還元）の中核を成す重要なステージでもあります。こうした観点から、競馬番組の編成や改善にあたっては、

- ① 競走馬の国内生産に立脚した競馬を基本としつつ、内国産馬と外国産馬が競い合いながら、頂点のG I 競走へ向かうというシンプルでわかりやすい競走体系を構築すること
- ② 優勝劣敗の原則に基づいた競走・賞金体系を構築し、質の高い能力の拮抗した出走馬による内容・頭数の充実した競走を提供すること
- ③ 次世代に伝えるべき優良馬の選択という競走の原点を踏まえ、G I 競走等において内外の有力馬が集結し、中央競馬が世界のチャンピオンホースを決定する重要なステージとして世界の競馬地図の中に位置づけられること

を念頭に取り組んでいます。

平成27年度の競馬番組については、こうした競馬番組編成の基本的な考え方を踏まえた上で、各種施策を実施します。

(1) 開催計画について

- ① 年間延べ288日（36回）の競馬を全国10か所の競馬場において施行します。
- ② 祝日開催の配置等に伴い、また、年間を通じた円滑な出走に資する観点から、第3場開催の開催日数及び配置を見直します。
- ③ より多くのお客様にご参加いただくため、1月12日（祝・月）、9月21日（祝・月）、10月12日（祝・月）及び11月23日（祝・月）に競馬開催日を設定します。
- ④ 年始の開催は、1月4日（日）・5日（月）とします。
- ⑤ こうした取組みにより、各競馬場の開催回数及び開催日数は以下のとおりとします。

競馬場	札幌	函館	福島	新潟	中山
開催回数	2	2	3	3	5
開催日数	12	12	20	24	42

競馬場	東京	中京	京都	阪神	小倉
開催回数	5	4	5	5	2
開催日数	46	24	47	41	20

(2) 重賞競走の改善について

① 古馬牝馬競走のローテーションの改善に伴い新設する競走について

年間を通じた古馬牝馬競走のローテーションを改善するため、第5回中山競馬第5日に既存のオープン特別競走（「ターコイズステークス」）を格上げして重賞競走を新設するとともに、これまで12月に施行していた「農林水産省賞典愛知杯（GⅢ）」については、休止します。

② 障害競走のローテーションの改善に伴い施行時期を変更する競走について

障害競走のローテーションを改善するため、「中山大障害（J・GⅠ）」「東京ハイジャンプ（J・GⅡ）」「京都ジャンプステークス（J・GⅢ）」の施行時期を変更します。

③ 開催日割の変更に伴い配置を変更する競走について

北海道地区における開催日割の変更や秋季の中山競馬の開催日割が平年に戻ることに伴い、一部重賞競走の施行場・施行時期・施行日を変更します。

④ 競走名を変更する競走について

平成27年は、日本とサウジアラビア王国の外交関係樹立60周年にあたることから、これを記念して、「いちようステークス（新設重賞）」を「サウジアラビアロイヤルカップ（重賞）」に変更します。

また、これに伴い、「サウジアラビアロイヤルカップ富士ステークス（GⅢ）」を「富士ステークス（GⅢ）」に変更します。

(3) ワールドスーパージョッキーズシリーズの施行時期・施行場の変更について

ワールドスーパージョッキーズシリーズは、施行時期・施行場を変更し、夏季の札幌競馬場において実施します。

2. 質の高い競走の提供

競馬の魅力を高めるためには、競馬番組を充実させるとともに、より質の高い競走を提供していくことが重要です。また、競馬開催を着実に施行していくためには、防疫面での強固な取組みが必要となります。JRAでは、競走の質を高めるために、競走馬の資質向上や防疫体制の整備、厩舎関係者の更なる技術の向上などに取り組みます。

(1) 競走馬の資質向上等への取組み

① 競走馬の資質の向上

i) 競走馬の保健衛生対策を通じた取組み

競走馬診療所の業務を着実に実施し、最適な獣医療を提供します。また、競走馬総合研究所を中心に、競走馬の能力向上に資する競走馬のスポーツ科学に関する研究や屈腱炎の新しい治療法（再生医療）等の臨床医療に資する調査研究を行うとともに、その成果を競走馬診療所等を通じて普及・指導していきます。

ii) 競走馬の育成を通じた取組み

J R Aが生産した馬（J R Aホームブレッド）及び1歳市場で購入した馬を、日高・宮崎の育成牧場において育成し、生産からのプロセスを含む育成方法の研究や技術開発を行い、その成果を競馬サークルへ普及・啓発します。また、育成した競走馬（J R A育成馬）を売却するJ R Aブリーズアップセールを開催します。

② 競走馬の事故防止対策

安全で充実した競馬を施行するため、事故防止に資する調査研究や馬場に関する研究を行うとともに、機関紙の発行や研修会の開催等を通じ、厩舎関係者にその成果を普及・啓発します。また、競馬場やトレーニング・センターの馬場の保安全管理などを着実に実施します。

③ 防疫体制の整備

馬伝染性貧血や馬インフルエンザをはじめとする伝染病のまん延を防止するため、入厩検疫を着実に実施し、予防接種等の各種防疫措置を講じます。

また、海外からの伝染病の侵入を防止するため、海外の伝染病の発生状況を把握し、適切な防疫体制の整備を行い、さらに、新たな診断法、治療薬及び予防液の開発により防疫体制の強化を図ります。

④ 生産育成基盤の強化

強い馬づくりを推進し、競馬の国際交流の進展に対応し得る生産育成基盤の強化を図るため、軽種馬生産育成の振興に係る諸事業への支援や諸団体への協力を行います。

(2) 厩舎関係者に関わるシステム(厩舎関連システム)の改善

より質の高い充実した競走を提供するためには、厩舎運営の更なる活性化及び競争性の確保が必要との観点から、J R Aでは厩舎関連システムの総合的な改善に取り組んでいます。平成27年度についても各種制度の適正な運用及び運用状況の検証等を行います。

(3) 厩舎関係者の養成等について

競馬学校において、より質の高い騎手・厩務員を送り出すため、養成システムを充実し、実践的かつ体系的な指導・教育を行います。

また、厩舎関係者に対する研修を実施し、技術及び知識の向上を図るとともに中央競馬構成員としての自覚をより一層喚起していきます。

3. 競馬の公正確保の徹底

お客様に中央競馬を安心してお楽しみいただけるよう、競馬の公正確保及び安全確保に万全の態勢を整えます。また、J R Aが行う登録・免許業務について、厳正に実施します。

(1) 公正な競馬の安全・円滑な施行

① お客様に信頼される競馬の提供

競馬の公正を確保していく上で必要な制裁や処分を厳正に行うとともに、不祥事案を未然に防止するため関係者に対して指導・研修等を実施します。

② 審判関係業務の充実及び改善

お客様により理解を深めていただけるよう、パトロールビデオの公開、ホームページ上での審議結果や制裁内容の公表等を通じ、情報提供の一層の充実を図ります。

また、裁決事項に関する国際協調を推進するため、国際会議等を通じて、海外競馬主要国との相互理解を深め、各国共通で運用可能なルールを策定するとともに、地方競馬全体を管理・統括する地方競馬全国協会との裁決事項に関する協調策について必要な改善を図ります。

(2) 登録・免許及びその取消しの厳正な実施

JRAは、馬主・競走馬・服色の登録及び調教師・騎手に対する免許業務を実施しています。これらの登録・免許及びその取消しについては厳正な実施が求められており、法令の定めるところにより、学識経験者である公正審査委員の意見を聴いた上で、厳正に実施します。

(3) 不正事案の未然防止及び自主警備体制の整備

お客様から信頼される競馬であるためには、競馬に関する不正事案を未然に防止することが不可欠です。このため、暴力団排除条例も踏まえつつ、競馬の公正かつ安全な実施に影響を及ぼすおそれのある反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨み、徹底的にこれを排除します。また、厩舎エリア等の警備はもとより、お客様エリア等施設内における安全確保や違法行為の防止措置なども適切に実施します。

(4) 禁止薬物に対する取組み

競馬の公正を確保するため、出走馬に禁止薬物が使用されることのないよう、関係者に対する指導などを徹底するとともに、禁止薬物事案が発生した場合には、警察等関係機関に協力し、厳正な対応を行います。また、薬物規制制度に関する国際協調に向けて、制度の整備を進めていきます。

(5) 勝馬投票に関わる違法行為等の防止対策

勝馬投票に関わる違法行為の防止対策に積極的に取り組むとともに、違法行為があった際は、厳正に対処していきます。

① 未成年者の勝馬投票券購入防止対策

未成年者が勝馬投票券を購入することのないよう、ホームページやレーシングプログラム等で周知を図り、適切な防止対策を講じます。

② ノミ行為、違法インターネット賭事等の防止対策

ノミ行為、馬券購入代行業及び違法インターネット賭事等の違法行為の防止のため、ホームページ等の各種媒体を通じて積極的に広報し、お客様への注意喚起を行うとともに、これら違法行為等に関する情報を収集し、警察等関係機関と連携を強化するなど、違法行為防止対策を講じます。また、国境を越えて行われる違法賭事については、海外競馬統括機関等と協調して必要な対策を行います。

③ 悪質な競馬情報提供会社による被害防止対策

競馬情報提供会社等に関する情報の収集に努め、悪質なものに対しては、必要な措置を講ずるとともに、各種媒体を通じてお客様の注意を喚起します。

4. 販売促進施策の推進

お客様により競馬を楽しんでいただくためには、販売ネットワークの拡充、勝馬投票面の施策、投票の利便性向上等の販売促進施策の効果的な実施が、大変重要な取り組みとなっており、各種の販売促進施策を積極的に推進します。

(1) 販売ネットワークの拡充策の実施

新規のお客様をはじめとしてより多くのお客様の競馬への参加機会の拡大を図るため、地方共同トータリゼータシステムを活用した地方競馬施設（J-PLACE）での委託発売や、従来の場外発売施設のあり方や形態に捉われない効果的かつ効率的な販売ネットワークの拡充に向けて取り組みます。

(2) 払戻金への上乗せ施策の実施

特定日の指定した競走・投票法において、お客様の参加意欲を促進し、よりご満足いただくため、JRAが設定している払戻率も踏まえ、払戻金への上乗せ施策（通常の払戻金に売得金の5%相当額を上乗せ）を実施します。

また、すべての競走・投票法において、通常の払戻金が100円元返しとなる場合に、売得金の範囲内で、払戻金に10円を上乗せする施策（「JRAプラス10」）を実施します。

(3) 電話・インターネット投票会員の加入促進及び利便性の向上

最高払戻限度額が6億円となった「WIN5」や「地方競馬IPAT発売」を積極的にPRすること等により、電話・インターネット投票会員への加入促進を図るほか、サポート体制の充実、インターネット投票環境の整備を行うこと等により、更なる利便性の向上を図ります。

① サポート体制の充実

電話・インターネット投票に関する様々な問合せに的確にお答えするため、電話やJRAホームページを用いた問合せ対応体制の充実を図ります。

また、一部のウインズにおいて引き続きサポートデスクを常設するほか、競馬

場・ウインズ等において、新規登録の受付やインターネット投票による購入方法をはじめとした各種の案内を行うなど、一層きめ細やかなサポートサービスを実施します。

② 電話・インターネット投票会員向けサービスの実施

電話・インターネット投票会員に対するフォローアップサービスの充実を図るとともに、各種キャンペーンを実施し、利用促進を図ります。

なお、PAT方式が平成27年7月にサービスを終了することに伴い、既存会員へのお知らせを実施するとともに、継続利用に向けた取組みを実施します。

③ インターネット投票における地方競馬の受託発売の実施

JRAのインターネット投票（即PAT等）を活用した地方競馬の競走の受託発売を引き続き実施することにより、インターネット投票会員へのサービスの充実を図ります。

(4) 各種販売促進施策の展開

これまで勝馬投票券の購入経験がない方に競馬を体験いただく取組みとして、また、既存のお客様に新たな勝馬投票の楽しみ方を提供する取組みとして、コンピュータが馬番号・組番号を選択する「クイックピック投票」での発売やマークカードを利用しないなど簡便に勝馬投票券をお求めになれる「ブース販売」、また、「JRAパーティーキャンペーン」などを引き続き実施します。

(5) ホスピタリティの高い接客への取組み

初心者からベテランの方まで、また若年層からシニア層の方まで、競馬場・ウインズに来場されたすべてのお客様が勝馬投票券を購入しやすい環境の確立を目指して、よりきめ細やかなサービスを提供するとともに、研修等の充実を通じて接客スタッフのスキル向上にも取り組みます。

また、お客様の視点に立った、インフォメーション・案内体制の充実を図るとともに、快適で安全な観戦環境の整備に向けて、競馬場等における分煙化の更なる推進やクリーンキャンペーンによる環境美化などに取り組みます。

5. 競馬への参加促進施策の推進

より多くのお客様が競馬に参加していただけるよう、メディアを通じて競馬の魅力を訴求する等の広報活動やWEB上での多様なコンテンツの提供等により、話題喚起を図ります。さらに、競馬場での各種参加促進策の実施など、きめ細やかなお客様向けサービスの充実により、お客様の満足度の向上に取り組み、幅広い参加を促します。

(1) 広報活動の展開

① 競馬中継の安定的な提供

テレビ・ラジオによる競馬中継は、お客様にレース映像・情報を提供する重要な

役割を果たしていることから、これら競馬中継を安定的に提供していきます。

② 中央競馬のイメージ向上と競馬への参加促進（広告プロモーション）

幅広い層それぞれに、レースの迫力や競馬の楽しみ方といった競馬の魅力を伝えるために、中央競馬のイメージ向上、競馬への参加意欲向上につながる広告プロモーション展開を行います。

③ パブリシティ活動の充実

「JRA」の認知度向上や競馬に関する話題喚起を図るとともに、お客様への適切な情報発信を行うため、テレビ、ラジオ、新聞及び雑誌などへの効果的な情報提供等を実施します。

(2) 日本ダービー（東京優駿）・第60回有馬記念におけるキャンペーンの実施とそれらを頂点としたG Iシリーズにわたるプロモーションの強化

日本ダービー・第60回有馬記念により多くのお客様がご参加いただけるよう、各種イベント等を実施し、スペシャルデーとして盛り上げを図ります。

加えて、頂点となる両レースに連なる、その他の主要なG Iレースのプロモーションも強化することでより幅広い参加促進につなげます。

(3) 多様なお客様層に応じたアプローチによる現金発売施設の活性化

① 多様なお客様層に応じたアプローチ

競馬場を中心とした現金発売施設において、新規のお客様向け競馬案内ブース（ビギナーズセミナー等）のほか、女性のお客様向け施策（UMA J Oスポット等）、家族連れのお客様向けイベント（馬とのふれあいイベント等）、アクティブシニア層向け実践型競馬教室等を積極的に展開することにより、競馬未経験のお客様へも積極的に競馬の魅力をお伝えすることで、競馬参加への誘引を図ります。

② 周辺観光地等との連携など付加価値の提供による来場きっかけ作り

周辺観光地ならびに旅行会社等と連携した競馬観戦ツアーやグルメイベント、他企業・地元自治体等の行政とのコラボレーションイベント等により、お客様に競馬以外の楽しみや付加価値を提供することで現金発売施設への来場促進を図ります。

また、特定日に競馬場の入場料を無料とする「フリーパスの日」や来場ポイントによる特典など、来場のきっかけ作りとなる施策の充実により現金発売施設への来場促進を図ります。

(4) 払戻率の設定

平成26年6月からJRAが一定の範囲内で弾力的に設定できることとなった払戻率について、お客様の一層の参加促進を図るため、お客様の購買動向の分析・検証やニーズの把握を続けていきます。

(5) 京都競馬場開設90周年・新潟競馬場開設50周年事業

平成27年は「京都競馬場開設90周年」「新潟競馬場開設50周年」の記念すべき年となるため、これまでのご愛顧に感謝するとともに、来場促進を図るため、記念事業を軸としたお客様向けサービス施策の更なる充実に取り組みます。

(6) レース映像及びホームページ等のサービスの充実

① レース映像の充実

引き続き、より鮮明で迫力のあるレース映像を提供し、ライブ競馬を充実したものとするため、特定の日においては、車載カメラやヴァーチャルカメラ、スーパーローカメラ等の特殊カメラを一層活用します。

② ホームページ等のサービスの充実

競馬に関する様々な情報の提供を行っているJRAホームページについて、さらに幅広いお客様にとってわかりやすくなるようスマートフォン向けを含めた機能の改善や新規機能の追加を行うとともに、話題醸成や競馬への関心向上に資するよう内容の充実を図ります。

また、この公式ホームページとは別に競馬未経験者向けの各種情報・サービス・コンテンツを提供するサイトを新たに開設することにより、広く世の中に向けて、競馬への理解増進と接点の創出を図ります。

さらに、JRA公式 Facebook ページにおいて、ユーザー同士のコミュニティを通じて中央競馬の話題が拡散するよう取り組みます。

③ 指定席予約サービスの充実

指定席予約サービスについて、適切に運用していくとともに、予約対象となる競馬場の拡大などさらなるサービスの充実に取り組み、指定席の利用率向上を図ります。

6. 施設の改善及び整備

(1) お客様関連施設の改善及び整備

① ウインズ名古屋リニューアルオープン

平成24年7月に開始したウインズ名古屋の改築工事について、平成27年5月に竣工します。より快適性を高め、安全確保・環境にも配慮した施設とします。

② ウインズ横浜A館改築工事

ウインズ横浜A館は昭和41年に建築され、施設の老朽化が著しいことから、お客様の安全確保はもとより、快適性・利便性の向上を図るため、引き続き勝馬投票券の発売を行いながら、改築工事を進めていきます。(平成24年4月着工～平成28年3月竣工予定)

③ 京都競馬場の整備

昭和46年建築の芝スタンドについて、老朽化が著しいため、解体することとし、周辺エリアを新たにイベントスペースやファミリーゾーンとして整備します。

④ 在席投票システム（i-Seat）の展開等

在席投票システム（i-Seat）の展開等、競馬場の指定席エリアやウインズのエクセルフロアにおいて、お客様の動向を踏まえた施設の改善を行います。

(2) 競走関連施設の改善及び整備

① 美浦トレーニング・センター厩舎改築工事

美浦トレーニング・センターは昭和53年に開場し、厩舎をはじめとした諸施設の老朽化が進んでいるため、先行して設置した2棟のモデル厩舎における建物の構造や運用の検証結果を踏まえ、改築計画を進めていきます。

② 栗東トレーニング・センター調教スタンド改築工事

現在の調教スタンドは昭和44年に建築されたものであり、老朽化が進んでいるため、改築工事を行います。

7. コンピュータ・システムに関する取組み

(1) システムの更新及び全体最適化

競馬開催及び事業運営に関わるシステムについて、信頼性・安定性確保の観点から必要な機器の更新を行います。また、併せて効率的なシステム運用及びコスト削減を図るため、仮想化技術を活用した統合IT基盤を構築し、システムの全体最適化を進めていきます。

(2) 情報セキュリティの確保

不正アクセスや情報漏えい等のもたらす影響の重大さにかんがみ、政府機関における情報セキュリティ対策を踏まえ、情報セキュリティポリシーを定めます。また、インシデント対応体制の構築や情報セキュリティの確保・維持を目的とした継続的な対応を実施するとともに、その評価を行います。

8. 中央競馬事業の継続的な安定化を図るための取組み

各種施策を通じた収益の向上だけでなく、事業構造の見直しなど、将来にわたる経費負担を抑制する取組みを継続的に実施することにより、事業運営の安定化と経営基盤の強化を図ります。

9. 事業運営に対する信頼性確保に関する取組み

JRAの事業運営に対する信頼が揺るがぬようにするため、事業の適正性及び透明性の確保に向けた取組みを行います。

(1) コンプライアンスに関すること

法令・社会規範の遵守や企業倫理の徹底等により、JRAの事業運営及び役職員の日々の行動が十分な適正性を有し、社会的な信頼を確保するものとなるよう、引き続きコンプライアンス体制を整えていきます。

(2) 情報公開に関すること

「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」「公文書管理法」の規定に基づき、JRAの保有する法人文書・個人情報等を適切に管理するとともに、開示請求等に適切かつ迅速に対応します。また、JRAホームページなどを活用し、JRAの経営に関する情報等を公開します。

(3) 契約・入札等に関すること

契約の適正化に向けて、不断の点検を行い、更なる契約の競争性の確保を図るとともに、契約手続の透明性を確保するため工事の発注及び調達に関する情報等についてJRAホームページ上に公開します。

10. 競馬の国際的な発展への取組み

JRAでは、中央競馬の競走の質的向上を目的として国際的な取組みを推進しています。今後も、中央競馬とわが国の競馬産業の更なる発展と国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬の充実を目指して、双方向の国際交流の推進、国際競馬社会との協調、アジアにおける競馬の振興など、競馬の国際的な発展への取組みを進めていきます。

(1) 競走を通じた国際交流の推進

国際交流競走が興味ある競走となるよう、「ジャパン・オータムインターナショナル」をはじめとしてGI競走への国内外の一流馬の参加を促進していきます。

また、国際競馬シリーズである「グローバル・スプリント・チャレンジ」に平成27年も参加するとともに、参加国と連携し、シリーズの振興を図るよう、国内外の一流馬の参加を促していきます。

なお、海外からの出走馬の受入体制を整え、国際競走を円滑に実施する一方で、日本馬が海外の競走に出走する際には情報提供及び関係者への支援を行うほか、帰国後速やかに国内競走への出走態勢が整えられるよう取り組みます。

(2) 日本の競馬産業の振興に向けた国際的な取組み

世界における日本の競馬の認知度向上と日本の競馬産業の振興を目指して、JRAが施行する競走の海外への情報提供や在日外国人及び訪日外国人のお客様の誘致を行うとともに、国内生産馬の海外への販路拡大等の競馬関連産業に対する支援に取り組めます。

また、近年、有力日本馬の出走が相次いでいる「凱旋門賞」や「香港国際競走」

など海外で施行される競走について、日本国内での注目度向上及び国内競馬の盛り上がりにつながる取組みを行います。

(3) 海外の競馬開催国との連携

競馬の国際交流が活発となる中、国際競馬社会との協調を図りつつ中央競馬の競走の質・イメージ及び日本の競馬の国際的な地位を高めていくことが重要となっています。わが国がアジア競馬連盟執行協議会メンバー国として、責任ある役割を担う立場であることを踏まえ、加盟国・地域における競馬の発展に主導的な立場で取り組むとともに、国際競馬統括機関連盟常任理事国として各種の国際会議等に参加し、国際的課題の解決に取り組めます。

(4) アジアにおける競馬の発展への取組み

アジア競馬連盟加盟国の競馬関係者に対し、競馬に関する知識・専門技術の研修を行い、アジアにおける競馬の発展に貢献していきます。また、将来的に政府公認の商業競馬の再開が期待される中国の状況について調査するとともに、中国政府関係者の日本への招聘、日本の技術者を中国に派遣して行う現地指導等を通じて、競馬に関する両国間の関係の強化により一層取り組んでいきます。さらに、競馬新興国に対し、情報提供をはじめとする各種対応を行います。

1.1. 社会活動への取組み

(1) 地域社会への貢献

JRAでは、競馬開催を通じて多くのお客様に競馬場等へご来場いただいているところであり、こうしたお客様によって事業所周辺に経済効果を創出し、地域社会の振興に貢献しています。また、競馬場等の事業所周辺において、「馬」を活用した地域のイベント等への協力、地域住民の皆様に楽しんでいただける催し物等の実施、各地区の教育機関への施設提供や馬の派遣など地域に根ざした様々な取組みを行うとともに、広域避難場所として指定されている競馬場では、災害時の対策として防災備蓄品を十分確保するなど、地域社会と連携・協調していきます。さらに、競馬開催日における競馬場・ウインズ周辺地域の美化推進を図るとともに、競馬場・ウインズ周辺の道路整備をはじめとする事業所周辺の環境整備を実施します。

(2) 乗馬普及、馬術の振興及び馬事文化の発展等に関する取組み

乗馬の普及、馬術の振興及び馬事文化の発展等の「馬事振興」を図ることは、わが国の馬文化を支え、競馬を健全に発展させる上で必要な取組みです。今後も、より効果的かつ効率的な馬事振興施策を実施します。

① 乗馬の普及

乗馬人口の底辺拡大を図るため、馬事公苑をはじめとする各事業所において、「乗馬教室」や「馬に親しむ日」などを開催します。また、競馬開催時には、お客様に「馬」への理解を深めていただけるよう、体験乗馬や馬車試乗会など馬と触れ合う

イベントを実施します。

② 馬術の振興

馬術の振興及び技術の向上を図るため、馬術競技会の開催、馬術競技等に関する諸事業への協力などを実施します。また、こうした取組みにより、競馬開催や馬術の指導などの業務に必要なJRA職員その他競馬関係者の技術の向上を図ります。

③ 馬事文化の発展への寄与

「馬の博物館」及び「競馬博物館」における展示、「JRA賞馬事文化賞」の表彰などを通じて、馬事文化の発展に寄与するとともに競馬への理解を促進します。また、全国各地に伝わる伝統馬事芸能などの馬事文化の保存に協力します。さらに、街中の競馬情報発信基地「Gate J.」（新橋・梅田）を通じて、競馬や馬に関する幅広い情報を提供します。

(3) 環境への取組み

事業活動に伴う環境への負荷を低減するために、以下の取組みを実施していきます。

① リサイクルに関する取組み

JRAは、競馬事業に伴い発生する排出物の再利用に積極的に取り組んでいます。平成27年度は、引き続き「RAP90」（リサイクル・アクション・プログラム90：排出物のリサイクル率を90%以上とすることを目標とした取組み）に基づき、リサイクル率の一層の向上を図ります。中でも、競馬開催に関する排出物について、リサイクル率の目標を昨年までの45%から50%に引き上げ、さらなるリサイクル率の向上に取り組めます。

② 温室効果ガス排出対策に関する取組み

地球温暖化対策として、事業活動に伴う温室効果ガスの排出量及びエネルギーの使用状況を把握するとともに、太陽光発電システムの活用等も含め、全体的なエネルギーコントロールにより、温室効果ガス排出抑制に向けた取組みを実施します。また、施設改善に当たっては、省エネルギー機器の導入や、自然採光、自然通風等の活用など、環境配慮型対策も行います。

(4) 特別振興事業等

① 競馬振興事業

競馬未経験層を主な対象として、競馬への入門となるような催事の実施や馬事文化の紹介、地方競馬との連携・協調をより効果的なものとする諸施策など競馬の健全な発展を図るために必要な事業を、特別振興資金を活用して実施します。

② 畜産振興事業

畜産分野に係る喫緊の対応が必要な事業や安全・安心な畜産物の供給に関わる事業を中心に、畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を活用して交付金を交付します。また、前年度終了事業の評価を行い、その結果を公表します。

③ その他の事業

地方競馬の各主催者が連携・共同して行う事業や競走馬の生産振興を図る事業に対し、地方競馬全国協会を通じて特別振興資金を活用した協力を行います。